

武蔵村山市 ひきこもり家族の 「自助の会」

カモミール



カモミールの花言葉

「逆境に耐える」「苦難の中の力」…

「カモミール」は、当事者による
当事者のための分かち合いの場所です

ひきこもり相談窓口の紹介

※ 相談方法

相談機関によって対応していない項目がありますが、電話・メール・訪問・個別・オンライン相談等があり、自分に合った相談方法が選べます。

相談先

1	東京都ひきこもりサポートネット https://www.hikikomori-tokyo.jp/index.php 電話 0120-529-528
2	市民なやみごと相談窓口 武蔵村山市本町 1-1-1 武蔵村山市役所 1 階 電話 042-565-1111 (内線番号：155・156)
3	武蔵村山市社会福祉協議会 武蔵村山市学園 4-5-1 (武蔵村山市民総合センター2階) 電話 042-566-0061
4	ひきこもりの地域家族連絡協議会 http://kazokukai.tokyo/ (都内家族会等相談機関)
5	NPO 法人「楽の会リーラ」 電話/FAX 03-5944-5730 (受付時間：水・金・日)13時～17時
6	多摩総合精神保健福祉センター 心の病気について幅広く相談することができる支援機関。医師などの専門家が在籍し、相談や情報提供、デイケア等行っています。

※訪問支援(アウトリーチ支援)とは

外へ出ることが困難な方への支援で、本人が「支援を受けることを了解している」事が前提に行われます。

相談は、「市民なやみごと相談窓口」や 「社会福祉協議会」でいつでも受けられます

公の相談機関においては
守秘義務によって個人情報を守られ安心です。



ひきこもり

- どうしていいかわからない…
- 相談先がどこなのか分からない…
- 理解してもらえないか不安…
- 気持ちを聴いてほしいが…
- 相談したら情報が洩れるか心配…

ひきこもり家族の自助の会「カモミール」

不安や悩みの吐き出しを
相手の思いを否定することなく聴き
相手の「今」を、ありのままに受け止める

安心・安全な場所であることの約束のもとで
運営されます

開催について

開催：毎月1回
日時：第2土曜日 13:30~15:30
会場：残堀・伊奈平地区会館 学習室
参加費：無料
【 令和8年度開催日 】
・4月11日 ・5月9日 ・6月13日 ・7月11日 ・8月8日 ・9月12日 ・10月10日 ・11月14日 ・12月12日 ・1月9日 ・2月13日 ・3月13日
【 問い合わせ先・お申し込み先 】
★カモミール 代表：中野 メール： mcyan75nen@gmail.com 電話：090-4735-9640 (受付：毎週木曜日 13:00~17:00)
★武蔵村山市社会福祉協議会 福祉総務課 地域係 地域福祉コーディネーター 電話：042-566-0061 (平日午前9時~午後5時)



『人間の行動には全て目的がある』

心理学者 アルフレット・アドラー博士の言葉です。

ひきこもっている本人は意味もなく、何も考えず、
ひきこもっている訳ではない。
ましてや怠けや甘えで
ひきこもっている訳でも無い。

誰よりも

ひきこもっている状態を責めているのは
本人自身なのである。

人間関係、本人の性格、担任の関わり、
いじめ、発達障害、仕事、親の育て方、
体調の変化、病因、…等の原因で
今の状態があったとしても、
今の状態(目的)は
「生きる為」「命を守る為」。

そこに至るまでの本人からのシグナルを
親や周りは見落としてしまった？
見落としてしまった…と言うよりは
「親も本人も経験したことが無い事」なので
「どうすればいいか分からなかった」…が
本当のところだと思います。

そして長期の時間が経過してしまった…
↑そこが問題(課題)。

ひきこもりの背景を知り、 子の人生に寄り添える親になる為に

~その①~

親自身へ「会の仲間」が寄り添えるように

自助の会「カモミール」では

- ①話している方の話を遮らない・否定しない
- ②話したくない時は、話さなくてもいい
- ③個人を特定できるようなメモは取らない
- ④予約不要・途中参加又は退出OK
- ⑤会で語られたことは他言厳禁

これは
ここが安心・安全な場所である為に
自助の会「カモミール」での
お約束事です。

~その②~

我が子の人生に親が寄り添えるように。
(親子が安心できる居場所(家)づくり)

- ① 傾聴を知り、
- ② コミュニケーションの大切さを学び
- ③ 情報を収集し
- ④ 沢山の親の引き出しを作り
- ⑤ 目指したいと思います

